

即日発表

2022年7月7日

ワールド・ベースボール・クラシック 2023 の日程、会場、組分けが決定
日本、台湾、アリゾナ、フロリダがワールド・ベースボール・クラシックの会場に
準決勝・決勝を含む全 3 ラウンド制で、準決勝・決勝はマイアミのローンデポ・パークで開催
2023 年の本大会出場枠は 20 か国に拡大され、
今年 9 月にレーゲンスブルク(ドイツ)とパナマシティ(パナマ)で予選を開催

World Baseball Classic, Inc. (WBCI) は本日、2023 年のワールド・ベースボール・クラシックの日程、会場、組分けを発表しました。第 5 回目の大会となる本大会は、2023 年 3 月 8 日～21 日の日程で、台中インターコンチネンタル野球場(台湾)、東京ドーム(日本)、アリゾナ・ダイヤモンドバックスの本拠地チェイス・フィールド(アリゾナ州フェニックス)、マイアミ・マーリンズの本拠地ローンデポ・パーク(フロリダ州マイアミ)の 4 か所で開催されます。

2023 年の大会では参加国が過去最多の 20 か国に拡大されます。2017 年の大会に参加した 16 チームは招待参加となり、2023 年の大会に自動的に出場。2022 年に開催される予選を勝ち抜いた 4 か国がこれに加わります。予選はレーゲンスブルク(ドイツ)のアーミン・ウルフ・アリーナで 9 月 16 日～21 日に、またパナマシティ(パナマ)のロッド・カルー・スタジアムで 9 月 30 日～10 月 5 日に開催されます。2023 年の WBC の第 1 ラウンドは、5 チームごとの組に分かれて総当たり戦で行われます。第 1 ラウンドでは 4 つのグループそれぞれの上位 2 チームが準々決勝に進みます。準々決勝の各組の上位 2 チームがチャンピオンシップ・ラウンドへ進みます。

台中では 3 月 9 日～13 日に A 組の試合が開催されます。A 組にはチャイニーズ・タイペイ、キューバ、イタリア、オランダ、そして 2022 年の予選突破チームが入ります。台湾で WBC が開催されるのはこれが 2 回目となります(2013 年の大会でも台中インターコンチネンタル野球場が試合会場となりました)。

「2013 年のワールド・ベースボール・クラシックは今でも台湾の野球ファンの心に強い印象を残している国際大会でした」と、Bros Sports Marketing Co. LTD. の社長であるモーギー・フー氏は語ります。「チャイニーズ・タイペイのチームの地元での大活躍は、数多くの台湾の野球ファンの胸に深く刻み込まれています。Bros Sports Marketing Co.にとって、2023 年 3 月に再びワールド・ベースボール・クラシックを台湾で開催できることは大きな誇りです。再びここで素晴らしい大会を開催できるように努めます。参加各国の連盟の皆様をはじめ、世界中から多くのファンの皆様をお迎えできることを楽しみにしています」

東京ドームはこれまでの 4 回の大会(2006 年、2009 年、2013 年、2017 年)で毎回予選ラウンドの会場となってきました。2023 年大会では、東京ドームは第 1 ラウンドの B 組の試合と、さらに準々決勝ラウンドの会場となります。B 組の試合は 3 月 9 日～13 日の日程で行われます。B 組の出場国は日本、韓国、中国、オーストラリア、そして 2022 年の予選突破国となります。準々決勝は 3 月 15 日～16 日に行われ、B 組の上位 2 か国と、台湾で行われる A 組の上位 2 か国が登場します。

「2 年にわたる延期を経て、2023 年にようやく開催されるワールド・ベースボール・クラシックに向けた WBC Inc. の大いなる尽力に対して、私たちは最大限の敬意を払っています」と、読売新聞東京本社 執行役員事業局長の山田隆氏は話します。「今大会の開催は、世界の団結を示すという意味において、これまでの大会よりも大きな意義を持つものになります。5 大会連

続の開催地となる東京は、すべてのエネルギーを注ぎ込み、すべての人々のために、目標である大会の成功を実現できるように努力することをお約束します」

これまで 2006 年と 2013 年の予選ラウンドで会場として使用されてきたチェイス・フィールドが、2023 年の大会で再びワールド・ベースボール・クラシックの舞台となります。第 1 ラウンドの C 組の試合がこの会場で 3 月 11 日～15 日に開催されます。C 組で戦うのは、前回優勝チームである米国、そしてカナダ、メキシコ、コロンビア、予選突破国です。

「2023 年のワールド・ベースボール・クラシックの会場として、チェイス・フィールドにファンの皆様をお迎えできることは私たちにとって大きな名誉であり喜びです」と語るのは、アリゾナ・ダイヤモンドバックスの社長兼 CEO、デリック・ホール氏です。「この大会がアリゾナで開催されることは、国際的なメジャースポーツイベントの会場として、アリゾナが高い評価を受けてきたことのひとつの証でもあります。米国、メキシコ、カナダ、コロンビア、そしてさらに予選を突破したもう 1 か国のファンの皆様がこの地を訪れ、世界最高峰の才能あふれる選手たちのプレーに声援を送るということは、私たちダイヤモンドバックスにとっても誇らしいことです。2013 年の WBC では、ファンの人々の力によって、記憶に残る熱気に満ちた雰囲気がスタジアムに生み出されました。来年も再び、野球ファンの誇りと情熱がこの地で示されることになるでしょう」

マイアミのローンデポ・パークは、ワールド・ベースボール・クラシックの大会史上初めて、全 3 ラウンドの試合がすべて開催される会場となります。第 1 ラウンドの D 組には、2017 年の大会で決勝に進出したプエルトリコ、そしてベネズエラ、イスラエル、ドミニカ共和国、2022 年の予選突破国が入ります。試合は 3 月 11 日～15 日に開催されます。北米で行われる準々決勝には C 組と D 組の上位 2 か国が出場し、開催日程は 3 月 17 日～18 日となります。また、準決勝と決勝は 3 月 19 日～21 日に開催されます。

「メジャーリーグベースボールとメジャーリーグベースボール選手会によって、ローンデポ・パークが 2023 年のワールド・ベースボール・クラシックの全 3 ラウンドの会場として選ばれたことを、ファンやパートナー、そしてフロリダ州南部の地域の皆様とともに名誉に感じています」と、マイアミ・マーリンズの会長兼筆頭オーナーであるブルース・シャーマン氏は語ります。「世界中のファンの皆様にローンデポ・パークにお迎えできることを楽しみにしています。権威あるこの大会には数多くのトッププレーヤーたちが参加し、ファンの声援がスタジアムにあふれることでしょう」

ワールド・ベースボール・クラシックは、世界野球ソフトボール連盟(WBSC)公認の国別対抗の野球世界一決定戦です。

###

お問い合わせ:

John Blundell(ジョン・ブランデル)、Major League Baseball Communications(メジャーリーグベースボール広報)、
(212) 931-7878、@MLB_PR

Silvia Alvarez(シルビア・アルバレス)Major League Baseball Players Association(メジャーリーグベースボール選手会)、
(646) 285-1819

WORLD BASEBALL CLASSIC, INC.について

World Baseball Classic, Inc.(WBCI)はメジャーリーグベースボール(MLB)およびメジャーリーグベースボール選手会(MLBPA)の指示の下、ワールド・ベースボール・クラシックの大会運営を行うために設立された会社です。世界野球ソフトボール連盟(WBSC)公認のこの大会は、MLB、MLBPA、日本プロ野球(NPB)、韓国野球委員会(KBO)、および両国の選手協会、その他世界各国のリーグおよび選手の後援を受けています。

ワールド・ベースボール・クラシックについて

ワールド・ベースボール・クラシックは最高峰の国際野球大会であり、世界野球ソフトボール連盟(WBSC)公認の国別対抗の野球世界一決定戦です。世界最高の選手たちがそれぞれの国・地域を代表して出場します。過去の大会は 2006 年 3 月、2009 年 3 月、2013 年 3 月、そして 2017 年 3 月に開催され、全世界で 340 万人以上のファンが試合観戦のために会場を訪れています。ワールド・ベースボール・クラシックの前回大会(2017 年)の優勝国は米国でした。決勝でプエルトリコを破って優勝を果たしています。次回のワールド・ベースボール・クラシックは 2023 年 3 月に開催され、世界中から野球の強豪国が集結し、トップクラスの選手たちが出場します。

世界野球ソフトボール連盟について

世界野球ソフトボール連盟(WBSC)は、野球とソフトボールを統括する国際スポーツ団体です。2013 年に国際野球連盟と国際ソフトボール連盟の合併によって設立されました。WBSC は、プレミア 12、ワールド・ベースボール・クラシック、各年代のワールドカップなど、世界 141 の国・地域(208 連盟)の代表チームが参加するすべての国際大会を統括しています。詳細は www.wbsc.co をご覧ください。